

令和8年度 土木部組織目標

組織名	土木部	部長	丸山 信文
組織の目的・方向性	能登半島地震により被災した道路の復旧を加速化し、市民の日常生活の早期回復を図ります。 防災・減災の視点に立った社会基盤整備のため、道路ネットワークの強化と公共インフラの計画的・効率的な維持保全を推進するとともに、都心エリアにおける緑化などにより都市の魅力向上に取り組みます。		
(参考) 関連する総合計画における政策指標※	・道路（橋を含む）が適切に整備・管理されていると思う市民の割合 ・都心部で以前と比べ緑が増えたと思う市民の割合 ・身近な公園について、安心・安全で快適に利用できると思う市民の割合		

※政策指標…目指す都市像の実現や、総合指標の目標達成を図るうえで、各分野において特に重視する指標。各分野の政策指標は市役所全体で共有し、組織横断で目標達成に向けて取り組みます。

土木部組織目標

地震により被災した道路の復旧工事がピークを迎えることから、関係機関と連携しながら着実に事業を推進し、市民生活の早期回復と安全・安心の確保を図ります。 あわせて、防災・減災の視点に立った社会資本整備へと移行し、道路ネットワークの強化と公共インフラの長寿命化を推進します。 また、道路整備事業においては選択と集中を図るとともに、にいがた2kmを中心とした緑化を推進し、令和9年度の緑化イベントも見据えながら都市の魅力と拠点性の向上に取り組みます。 さらに、持続可能な事業執行に向けた業務の効率化や不断の見直しと併せて、業界とも連携した人材確保や人材育成・技術力の強化に取り組みます。 この方針のもと、今年度は、次の4つの目標に重点的に取り組みます。 重点目標 1 被災した道路（市道、私道）の復旧による日常生活の回復 2 防災・減災の視点を踏まえた道路ネットワークの強化と公共インフラの長寿命化の推進 3 公民連携による緑化の推進と都市の魅力・拠点性の向上 4 持続可能な事業執行に向けた人材育成と事業見直し

※重点目標における指標や取組状況は、各課組織目標をご覧ください。

評価

取組結果	重点目標の達成状況	目標数	達成数
今後の方向性			